

第3回建設業活性化検討委員会でいただいた主なご意見と対応方針（案）「該当番号」：新プラン第3章の(3)の左端の取組番号

番号	分野	主なご意見	対応方針	該当番号
1	出前授業/現場体験	<ul style="list-style-type: none"> 土木工事 1 日体験の参加者数は、想定していた人数か（生徒 44 名、保護者 12 名、教員 2 名）。 高校生の就職者数でいうと、土木系は、ほとんど土木系にいく傾向がある。今回の「土木工事 1 日体験」の参加者一覧表を見ると普通科の高校生も参加してくれている。 普通科の生徒には、土木の知識がなくても、基礎の数学、物理が分かっていたら大丈夫ということを一 日体験の説明会で伝えてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内 3 会場での「土木工事 1 日体験」のうち、東部と西部に想定以上に申込みがあったが、ドローン操縦に興味を持ったのではと推測（東部 16 名、中部 26 名、西部 16 名）。 当初 8 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況により中止。 11 月 6 日に安芸会場で追加開催を実施（参加者 9 名、生徒 7 名、保護者 1 名、教員 1 名）。 ICT 機器を用いた丁張設置作業、ICT 施工の重機操縦、ドローン操縦、若手職員との意見交換会と有意義な体験会が開催できた。 研修内容等を検討していきながら、今後も実施していく。 	1
2	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 都会ならば、海水浴に電車で 2 時間かけて行くところを、高知県なら海・山・川まで 30 分で行けるといった生活環境の良さをアピールしてもよいのではないか。 現代の土木技術にも通じる、高知県が生んだ土木の偉人などインパクトがあることを言ってもよいのではないか。何かしらうまい宣伝材料を作らないといけないと考える。 移住者への魅力 PR として、サーフィンや釣りができるから幡多に来た人がいる。そういった魅力も含めて、高知の建設業界の魅力を情報発信したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 高知県建設業協会（以下、「協会」という。）が高知県よろず支援拠点にて各種媒体を用いた広報活動のレクチャーを受講中。 協会がインスタグラムを開設。 協会が HP にリクルート用ページを作成中。 協会が動画「現場の力飯」を YouTube に掲載。今後も動画を作成予定。 中村地区建設協同組合も建設業 PR 動画を作成中。今後、広報活動の中で発信を検討。（来年度以降は、UI ターン向けや女性向け動画の作成を計画。） 	9
3		<ul style="list-style-type: none"> 高知県の土木建設業は、全国の中でも仕事が多いところであり、若い人が入っても一生分の仕事がある。 もし、土木業界に入れば、こんな事をやらなければならない、この位の仕事量がありますという、この視点も取り入れていった方がよいのではないか 道路、河川などの工事がたくさんあることを説明するのに、道路計画、河川計画があると思うが、子供用のものがない。子供たちが見て、わかりやすいものがあれば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路は子供用の説明資料があり活用している。 今後、子供たちが分かりやすいものを出前授業か一日体験の中で作成検討。 	7
4	女性活躍	<ul style="list-style-type: none"> 女性でインパクトのある方が業界に入ると、男性もつられて入ってもらえれば。 	<ul style="list-style-type: none"> 協会が「建設フェスタ」を開催（11 月 14 日）し、その中で、KDJ（高知土木女子）がブースを初出店。 今後も女性の就業環境整備等に向けた啓発活動を行う予定。 	19
5	外国人材	<ul style="list-style-type: none"> 高知県内での更なる高度人材の確保に向けて、事例調査に東京の高度人材を雇用している大手建設会社へヒアリングに行く準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 10 月 18 日、19 日に古木委員と国土交通省、大手ゼネコン 3 社を訪問し、外国人材活用方法のヒアリングを行い、高度外国人材の活用と、外国人技能実習生等の多能工化に向けた政策提言の準備中。 	22
6	人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 経済状況が大変な中、奨学金の対象を高校生にも広げてもらえれば中学生も選択肢が広がると考える。 20 代前半の若手の技術者全体に焦点を当ててほしい。女性に限らずに若手というくくりが良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体等と協議しながら今後検討していく。 評価項目案として設定可能か検討していく。 	8 12

県議会で出された主なご意見

1	生産性向上・魅力発信・人材確保	建設業のデジタル化を促進し、建設業界の働き方改革促進と、魅力ある産業ということを PR し、人材の確保へつなげてほしい。
2	魅力発信・女性活躍の支援	建設業に興味を持ってもらうよう工夫を。 また、女性にも興味をもってもらい参入してもらう工夫を。
3	労働環境整備	国にも働きかけ、設計単価や適正工期、平準化などの施策に反映を。
4	外国人材確保策	技能実習生の方に高知でしっかり実習していただくため、もっと県内に監理団体を作る必要があるのではないか。
5	人材確保策	どの職種で、どの位の人数が必要か分からないので、具体的に分かるものに。
6	生産性向上	<p>活性化の議論に「適正な利潤の確保」の視点も取り入れてほしい。</p> <p>小規模な事業者は収益率が低いので、収益性を高める対策を。</p>
7	生産性向上 (ICT 補助)	<p>大変素晴らしい取組。デジタル化はハードルが高い。デジタル化推進には力わぎが必要。その先に担い手確保があると思う。</p> <p>活性化プランの中で、建設業の ICT 活用件数の成果目標を実現するためには予算付けが必要。</p>